

WE LOVE 北鯖石 はばたこう未来へ！

北 星

柏崎市立北鯖石小学校

学校だより 440号

令和8年 3月 発行

柏崎市 中田1743-2

TEL 0257-22-4454

FAX 0257-20-1753



E-mail kitasaba@kenet.ed.jp



「ありがとう」の対義語 ⇔ 「〇〇〇〇〇」

増井 貴

感謝するときに使う「ありがとう」の対義語について考えたことがありますか。

「ありがとう」は、ワープロ変換で「有難う」「有り難う」と出てきます。このことから、ありがとうは「そう有ることが難しい」→「滅多にない」→「珍しくて貴重だ」と考えを巡らせることができます。すると「ありがとう」の対義語は「あたりまえ」「当然」ということに行きつきます。

「あたりまえ」の状態の中に「ありがとう」という感情は芽生えません。例えば、私たちの周りに空気があって「呼吸できる」ということに「ありがとう」とは思わないように。ですが、世の中には呼吸できることに感謝している人がいることも事実です。そのように考えると、「あたりまえ」の中にも「ありがとう」がたくさん隠れていることに気付くことができます。



ところで、3月24日(火)に第124回の卒業証書授与式が行われ、11名の6年生(きらめき学年)が巣立っていきました。きらめき学年は、互いを認め、支え合うまとまりのある学年でした。それは、行事等で学校代表として活躍する場面によく表れていました。また、ファミリー班活動では下学年に寄り添って行動する、委員会活動では5年生をよく導いて行動するなど、最高学年にふさわしいパフォーマンスを発揮してきました。

きらめき学年が最高学年で「あたりまえ」だった令和7年度が終わりました。すると、その当たり前だった日常は、変化し、今までの「有り難かった」ということに気づかされます。それは、きらめき学年が学校生活に多大な貢献をしてきたことの証です。改めてきらめき学年のみなさんにお礼を伝えます。ありがとう。この「ご恩」は、北鯖石小学校をより明るく元気で楽しい学校にすることで返していきます。新しいメンバーで…。

保護者や地域の皆様には、一方(ひとかた)ならぬご協力をいただきました。PTA活動や親子活動では、行事や活動のために計画・準備にお力添えをいただきました。また、生活科・総合的な学習の時間の講師、地域の方とふれあう会の交流、登下校の見守りなど、学校運営に必要なご協力をいただきました。さらに、地域振興会としてのご協力にも感謝いたします。お預かりしました予算を子どもたちの教育活動に有効に使わせていただきました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。ありがとうございました。令和8年度もよろしく願います。

